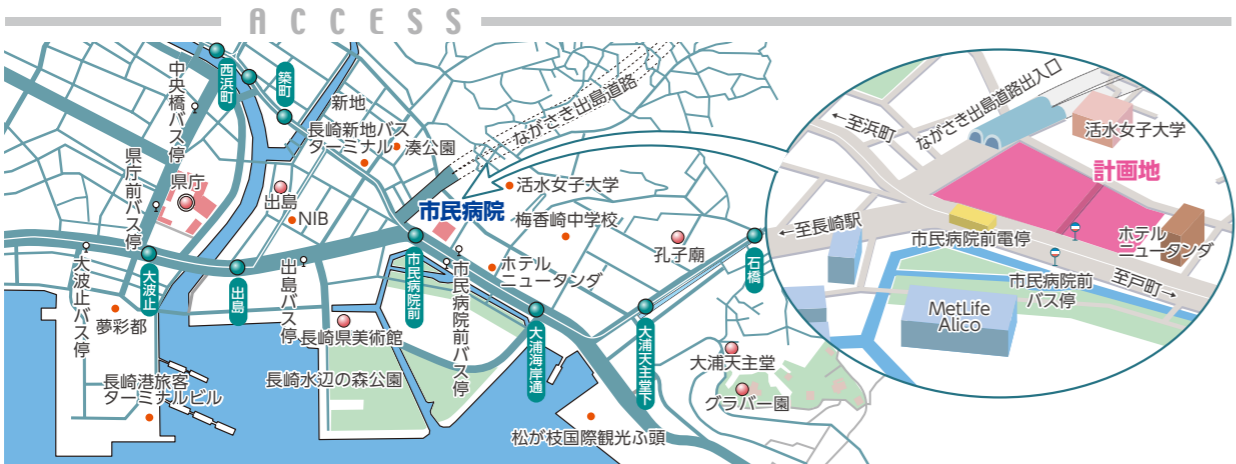


輝ける明日の医療を目指して…



※完成予想図



新市立病院のご案内

長崎市立病院機構企画課 長崎市新地町6-39 TEL:095-822-3251

□E-mail: byouin_kikaku@nmh.jp □ホームページ: <http://www.nmh.jp/>

平成24年4月、長崎市病院局は地方独立行政法人 長崎市立病院機構へ移行しました。

平成24年 地方独立行政法人 長崎市立病院機構



※完成予想図

施設の概要

1 事業用地

- 地 番：新地町84番1 常盤町2番5ほか
- 敷地面積：11,018㎡

2 病院棟

- 延床面積：40,600㎡程度
- ※病院機能部分は、38,700㎡程度
- ※平成24年4月時点での計画面積

- 階 数：I期棟(地下2階、地上8階)
II期棟(地下1階、地上4階)
- 主体構造：鉄筋コンクリート造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
及び鉄骨造(免震構造)
- 病 床 数：513床(結核病床13床含む)

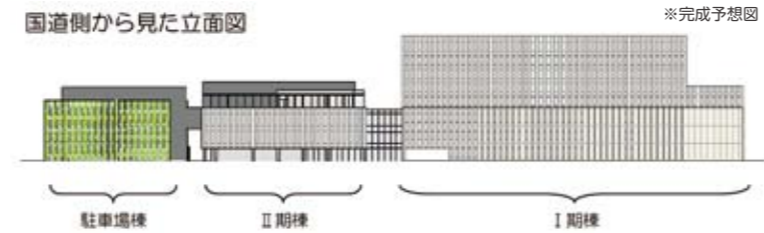
- 年間延べ入院患者数 160,000人
(病床利用率 86.0%)
- 年間延べ外来患者数 200,000人

3 駐車場棟

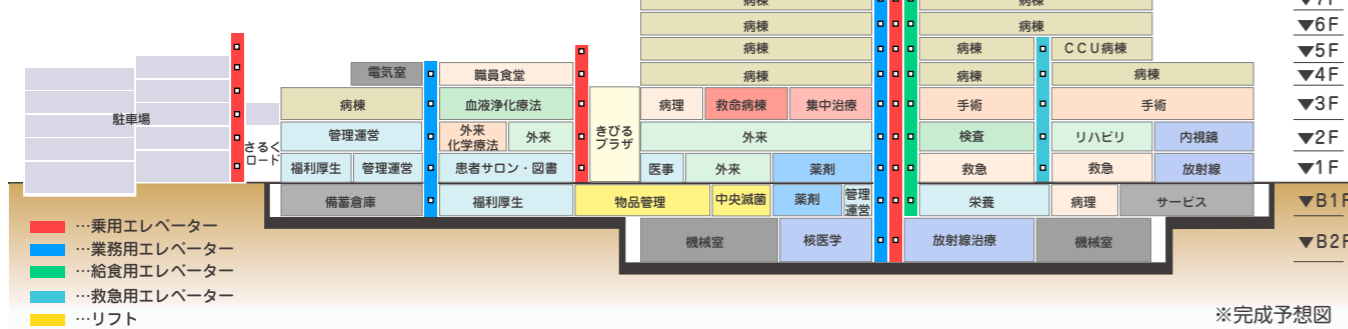
- 延床面積：9,915㎡
- 階 数：地上5階
- 駐車台数：350台



項目	期 日
PFI事業契約締結	平成22(2010)年 12月
工事着手	平成24(2012)年 2月
I期棟建物の開院	平成26(2014)年 2月
全面開院(グランドオープン)	平成28(2016)年 5月
PFI事業期間終了	平成43(2031)年 3月末



新市立病院 断面構成図



事業手法と事業契約の相手方

1 事業手法

新市立病院の整備手法は、施設の整備と運営を一括発注するPFI方式を採用していますので、新市立病院の設計や建設に加え、建設後の建物のメンテナンスや清掃、保安等の事業を一括して契約しています。

また、このPFI方式は、すでに市立図書館で導入しています。

2 事業契約の相手方

大成建設グループが設立した新市立病院の整備運営のための特別目的会社(SPC)である「長崎ホスピタルパートナーズ株式会社」と事業契約を締結しました。



新市立病院が提供する医療

1 救命救急医療

新市立病院には、「ER型救命救急センター」を整備しますので、休日や深夜など時間外の急な病気はもとより、すぐに手術をしなければ命に関わるような病気にも、24時間365日対応します。

また、I期棟の屋上には一刻を争う患者の搬送に備え、ヘリポート(飛行場外離着陸場)を整備します。

2 高度・急性期医療

新市立病院では、脳梗塞などの「脳血管疾患医療」、心筋梗塞をはじめとした「心疾患医療」、日本人の死因の第1位である「がん医療」の治療にあたります。

高度・急性期医療の提供にあたっては、地域の医療機関との連携をはかります。

3 周産期医療

新市立病院では、現在の市民病院が実施している母体・胎児、そして生まれたばかりの赤ちゃんのための周産期医療も引き続き行います。

4 政策医療

市立病院として、災害医療、結核医療、感染症医療の政策医療を実施します。

新市立病院の機能

機能	対応する疾患	医療内容	備考
救急医療	○脳卒中 ○急性心筋梗塞 ○事故による搬送等	○救命救急センターの整備	○救命救急センター20床(ICU 4床、HCU 16床) ○ヘリポートの設置
脳血管疾患医療	○脳梗塞 ○脳出血 ○くも膜下出血等	○血管造影、CTによる検査の実施 ○t-PA治療の実施 ○カテーテル治療の実施	○SCU 2床の設置 ○早期リハビリの充実 ○地域連携の推進
心疾患医療	○心筋梗塞 ○狭心症等	○心臓カテーテル検査を積極的に取り入れ、ステント留置術を実施するなど内科的治療の充実 ○冠動脈バイパス術等の外科的治療の充実	○CCU 6床の設置 ○血管造影室の増設
がん医療	○消化器系、呼吸器系等の全てのがん	○外科療法、化学療法、放射線療法、ラジオ波凝固療法、ホルモン療法の実施 ○上記治療法を組み合わせた集学的治療の実施	○地域がん診療連携拠点病院 ○がん相談支援センターの設置 ○緩和ケアチーム ○教育、研修機能の充実
周産期医療	○ハイリスク出産、低出生体重児に対する医療等	○産科、小児科双方からの一貫した医療の実施	○大学病院との連携 ○新生児治療室 6床、継続保育室 10床、産科病床 15床の設置 ○産科オープンシステムの実施 ○陣痛、分娩室の充実
小児医療	○小児総合医療	○小児救急への対応 ○各疾患への対応	○大学病院、各専門病院との連携
血液浄化医療	○慢性腎不全 ○急性腎不全 ○薬物中毒等	○透析導入、急性腎不全を含めた救急透析治療、特殊血液浄化療法の実施	○透析装置30台 ○CAPD室の設置
各診療科の高度医療	○紹介患者中心 ○診断困難症例 ○治療困難症例	○地域医療支援病院として紹介患者を中心とした診療の実施 ○急性期医療を脱した患者に対しては、速やかに紹介医あるいは患者に最も適した医療施設に紹介の実施	○各診療科の体制及び医療機器の充実 ○急性期リハビリテーションの充実
政策医療	災害医療	○総合医療 ○災害時における総合的な医療の提供	○地域災害医療センター(災害拠点病院) ○免震構造
	結核医療	○肺結核等	○結核医療機能の整備 ○結核病床13床
	感染症医療	○赤痢等感染症	○感染症医療機能の整備 ○第二種感染症指定医療機関 ○感染症病床6床
教育研修機能			○医師確保の拠点病院 ○研修プログラムの充実 ○後期研修医(レジデント)の確保 ○医療従事者の研修体制の充実 ○働きやすい環境づくり